

# 市民と行政のパートナーシップによる くらし日本一のまちづくり

平成十四年度二月市議会定例会が、二月十八日から三月六日までの日程で開かれまし  
た。

今回の議案は、各種条例の  
制定や一部改正、平成十四年  
度一般会計および特別会計、  
水道事業会計の当初予算など  
計三十六件で、すべて原案の  
とおり可決されました。

市議会開会日の二月十八日、  
川井市長から平成十四年度を  
迎えるに当たり、施政方針が  
表明されましたので掲載いた  
します。



健康福祉・環境・生涯学習  
IT先端都市白石を目指して

現在の日本は人口減少への歴史的転換期にあり、また、資本、技術、労働力のグローバル化、自由化によって、特に金融関係においてはアメリカへの一極集中が加速し、日本では首都圏への集中により、周辺地域の空洞化が進んでおります。

反面、資源の移動による周辺の活性化は中国などに移り、日本での地方の活性化は全く見られず、従来の政治、経済、社会システムが十分な機能を発揮できない状態にあり、失業率の増加など、すべての面において閉塞感が増しております。

この問題解決のためには、従来のシステムを打破し、思い切った構造改革をしなければならぬことは、誰しもが認めるところであります。  
そうした状況の中で、当市においては、ホワイトキープをはじめ、情報センターや総合福祉センターなどの大きな施設整備はおおむね完了し、今後は、これらを含め白石が持っている自然環境、歴史、文化、伝統などの財産を見つめ直し活用していきながら、昨年度に策定しました「新ホワイトプラン」を市政運営の基本といたしまして、「健康・福祉都市」、「環境都市」、「生涯学習都市」、「IT先端都市」の実現を目指し、「市民と行政のパートナーシップ」によるくらし日本一のまちづくりを目標として、市民の皆様とともに「新ホワイトプラン」の理念を実現すべく、全力でふるさと白石のまちづくりを進めてまいります。

## 保健・福祉・医療

初めに、「新ホワイトプラン」の大きな柱の一つであります「健康・福祉都市」の実現を目指しまして、本年は、公立刈田総合病院の移転新築が完了し、開院することにより、福祉の里とのネットワーク化による「保健・福祉・医療」の一体化をさらに進めてまいります。

また、市内本町地区に建設いたします、介護保険対応のデイサービスセンターについては、十四年度内に建設・完成いたします。

また、同敷地内に建設される（仮



5月に開院する「新公立刈田総合病院」

称）ふれあいプラザは、中心市街地にぎわいを取り戻すことと同時に、少子高齢化対策の拠点とし、一方、この場所に「ファミリー・サポート・センター」を移転し、親子のふれあい、子育て支援の環境整備を図ります。

さらに、鷹巣地区土地区画整理地内に、高齢者や障害者などに配慮した公営住宅、いわゆるシルバーハウジングの建設については、十四年度内に建設・完成いたします。

全体の建設戸数は十八戸とし、そのうちシルバーハウジングは、高齢者単身世帯四戸、高齢者夫婦世帯四戸、障害者世帯四戸の計十二戸で、その他一般向け用住宅を六戸建設し、構造は木造住宅といたします。

特にシルバーハウジングは、住宅のバリアフリー化を図るとともに、ライフサポートアドバイザー、いわゆる生活援助員による入居者に対する安否の確認、生活相談、緊急時の対応、疾病時の一時的家事援助などの生活支援など、ハード・ソフトの両面から福祉サービスを入居者に提供してまいります。

福祉と併せた保健事業については、「介護予防事業」として痴呆予防教室や、ものわずれ相談を実施するとともに、「こころの健康づくり」として、「こころの悩みを一人で抱え込まず、問題解決に向けてサポートする、こころの相談と精神障害者が地域で安心して暮らせるための、ケア

## 環境

マネジメント事業を実施いたします。

また、「身体の健康づくり」としては、自ら正しい健康管理に取り組み努力をするための「個別健康教育」として、糖尿病教室や高脂血症教室の実施、さらには、全身疾患の危険要因になる歯周疾患を予防するために、基本健康診査に併せた歯周病検診を導入し、市民の健康づくりに努めてまいります。

次に大きな柱となるのが「環境都市」の実現であります。

現在、平成十三年度内のISO14001認証取得に向け、環境マネジメントシステム要求事項の構築を進めております。

具体的には、これまで以上に環境マネジメントシステムを確立し、維持するとともに、今後、これを市民に普及徹底させていくことを最終の目的としながら、「白石らしさ」である歴史ある水の文化と、緑の自然を後世に引き継ぐために、「くらし日本一」の住みよい環境保全に努めてまいります。

また、市内事業所などから排出される食品残さを、バイオ技術を導入し処理することにより、新たなエネルギーとして活用するリサイクル処理施設整備を十四年度中に進めるとともに、十三年度に設置いたします農業用ハウスの活用により、



生活習慣病予防教室での体脂肪・体重測定



総合学習、生涯学習に活用される「農業用ハウス」  
(学校給食センター北側)